

## 1. 研究目的

最近の結婚式の傾向として、自由な形で行うオリジナルウェディングが人気になってきている。そのなかでも屋外で行うガーデンウェディングやアウトドアウェディングに注目した。そこで、屋外で結婚式を挙げる際に必要と成るものの1つであり、現在まで形があまり変わることの無かった仮設テントについての研究を行う。

## 2. 調査と分析

ガーデンウェディングやアウトドアウェディングとは屋外でおこなう披露宴や挙式のこと、日本伝統の挙式に比べて、かなり欧米に近いウェディングスタイルである。このようなスタイルは青空の下で開放感があり、陽光が降り注ぐ中緑や花に囲まれるため、より身近に季節を感じられる。

仮設テントとは、地盤面に対し堅結接合されていないレジャー用以外のテントのことである。様々な形・大きさがあり、三角屋根と6本の足で構成されている2間×3間テントが一般的である。家型のテントで、パイプの組立式の骨組みにキャンバス地の屋根を張ったものであり、中に人が立って作業するのに十分な高さがある。形状としては現在のかたちでも問題はないが、以下の問題点から、屋外での結婚式やイベントなど華やかな場面で使用するには適していないと考える

問題点を三つ挙げる。

- (1) 外観が華やかな雰囲気に適していない
- (2) 決まった形にしか組むことが出来ない
- (3) テントの配置の仕方が限定されている

## 3. コンセプトの立案

「華やかな場面に適し、組み合わせによって形を変化することのできる仮設テント」

- (1) 軽やかで見栄えの良い外観
- (2) 部品の組み換えにより形のバリエーションが広がる
- (3) 組み合わせによってこれまでにない配置が可能

## 4. デザイン展開

(1) 屋外で挙げる良さを生かせる構造、柱にはアルミのポール、屋根にはナイロンの薄地の布を使用することで軽やかな外観とした。(図1)

(2) 柱の数、大きさ、形のバリエーション展開

3,4,5本と柱の本数を変えることによって屋根の形に変化をだす。また、席次によってテントの柱の高さを変えることで天井の高さがもたらす心理効果を狙う。使いたい大きさに合わせて変化できる(図2)

(3) 配置のバリエーション展開

屋内で行う結婚式や披露宴の席次を参考に、椅子、テーブルの場所に沿ってテントの配置を行った。(図3)

## 5. 完成図

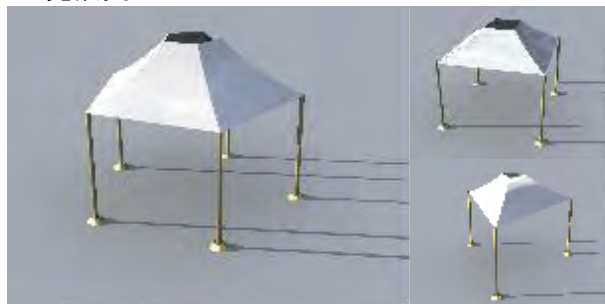


図1 単体五角屋根

図2 組み換え例

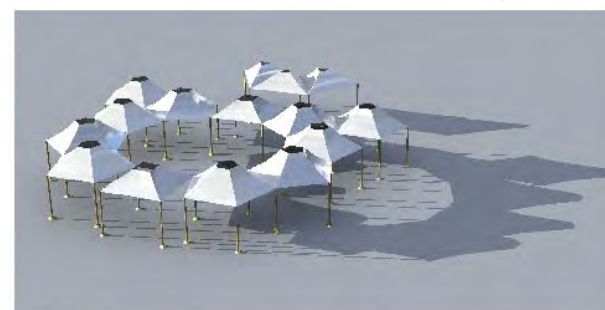


図3 全体配置イメージ

## 6. 結論

この研究の目的である、屋外での結婚式に適した仮設テントの提案は、目標を概ね達成できたと考える。ただし、スケールモデルでの再現に留まったことで、実物大での細部の検討に課題が残った。

今後、対象のユーザーに意見を伺い、問題を明確にしていきたい。

## 文献

- [1]結婚式について  
<http://ja.wikipedia.org/wiki/>
- [2]仮設テント  
<http://www.weblio.jp/wkpja/content>
- [3]天井の心理効果  
<http://www.lifehacker.jp/2010/08/100804ceiling.html>